

# 報告案件（1）とよたおいでんバス期間限定系統の新設等（秋季香嵐溪渋滞対応）の実施結果について

## 1 趣旨

例年、紅葉シーズンの足助地区香嵐溪の渋滞が深刻化しており、運行時間の長時間化が問題となっていた。令和3年度は、運行事業者と協議を重ねた結果、最も渋滞の激しい時間帯、香嵐溪手前のバス停を終点とした系統を設定することで運行時間の短縮を図った。

## 2 実施内容

対象路線：とよたおいでんバス【さなげ・足助線、稲武・足助線、旭・足助線】3路線

対象日：令和3年11月20日（土）、21日（日）、23日（火・祝）、27日（土）、28日（日）の計5日間

実施内容：最も渋滞の激しい時間帯に限った、香嵐溪手前のバス停を終点とした系統の設定

路線名	上り便	下り便
さなげ・足助線	—	7便 (豊田厚生病院 12:20 発の便から 18:20 発の便まで)
稲武・足助線	4便 (どんぐりの湯前 11:46 発の便から 16:46 発の便まで)	5便 (足助病院 12:55 発の便から 20:25 発の便まで)
旭・足助線	4便 (小渡 12:45 発の便から 18:05 発の便まで)	4便 (足助病院 13:30 発の便から 18:50 発の便まで)

## 3 利用状況

特に来場者数の多かった令和3年11月20日（土）の利用者数

(1) 香嵐溪へ向かう利用者数（終点「足助病院」及び「足助」での1日の下車数の総数）

路線名	終点	下車数 (短縮ダイヤ運行時間帯に限る)
さなげ・足助線（下り）	足助病院	87名
稲武・足助線（上り）	足助	7名
旭・足助線（上り）	足助	1名

※さなげ・足助線については、遅延の影響により、15時台の時間帯で54名の乗客が「足助病院」から6個手前の「下野口」で下車しているため、足助病院に到着する前に下車する利用者が多数存在していた。

(2) 香嵐溪から帰る利用者数（「足助」での1日の乗車数の総計）

路線名	香嵐溪からの 最寄りバス停	乗車数 (短縮ダイヤ運行時間帯に限る)
稲武・足助線（下り）	足助	0名
旭・足助線（下り）	足助	0名

(3) 11月全体（11月1日～11月30日）の利用者数（短縮ダイヤ運行時間帯以外も含む）

路線名	利用者数 (R1)	利用者数 (R3)	R1との比較
さなげ・足助線	23,311	23,978	102.9%
稲武・足助線	3,342	3,153	94.3%
旭・足助線	981	705	71.9%

## 4 遅延状況

令和元年度との比較（令和元年11月23日（土）、令和3年11月20日（土））

(1) 香嵐溪へ向かう便（遅延が深刻な時間帯での比較）

路線名	遅延短縮時間 (R1→R3)
さなげ・足助線 (R1:13時台、R3:15時台)	18分
稲武・足助線 (R1:15時台、R3:16時台)	2時間3分
旭・足助線 (R1:17時台、R3:18時台)	3時間2分

(2) 香嵐溪から帰る便（遅延が深刻な時間帯での比較）

路線名	遅延短縮時間 (R1→R3)
稲武・足助線 (R1:18時台、R3:16時台)	33分
旭・足助線 (R1:21時台、R3:17時台)	52分

※稲武・足助線、旭・足助線共に、令和3年度については、対策を講じる1週間前の11月13日（土）の方が渋滞の影響が大きかった。

## 4 実施結果

(1) 運行事業者への影響

運行時間の短縮に一定の効果が得られた。

(2) 利用者への影響

地域住民、観光客共に、バス停休止に関する苦情は寄せられなかった。

(3) 令和4年度以降の対応

「足助病院」バス停から香嵐溪までの道のりは歩道が狭く、街灯も少ないため、利用者の安全性を確保するため、他の候補地を検討する必要がある。